

・ 2 学期の思い出ダイジェスト ・

鳴海ヶ丘新聞

第2号

2017年12月



幼稚園まつり

音楽リズム発表会

(十二月六日)

展覧会(十月十四日)

ホット☆アート JAPANS



第一ホールは、ジャンボ折り鶴(縦割りの保育作品)を筆頭に、各学年毎のテーマ作品が展示され、日本の文化の温かき、繊細さ、力強さを表現することができました。黄組は「相撲とダルマ」、赤組は「お祭り」、青組は「日本の漁師の文化」を取り上げました。また、各保育室では、土粘土作品と日常描いた描画を展示。来園された皆様には、作品一つ一つをじっくりご覧いただき、芸術の秋を満喫していただけたことと思います。

エコ集会(十二月十二日)

2学期に取り組んだエコ活動や環境あそびを、学年ごとに発表しました。黄組は、ペットボトルや空き缶が何に生まれ変わるのか、先生方が劇仕立てでお話ししました。赤組は、園内の水道の蛇口がいくつあるのか水道マップを使って示したり、水をきれいにする濾過装置を使った実験について先生と子どもたちが協力して報告しました。青組は、エネルギーにまつわる「昔の暮らしと今の暮らし」の違いを考えるクイズを青組の子どもたちが出し、黄赤組の子どもたちが張り切って答えていました。地球を守るために出来ることをみんなで考えた集会でした。



日本特殊陶業市民会館フォレストホールの大舞台で、子どもたちは、今まで一生懸命取り組んできた練習の成果を十分に発揮しました。音楽のリズムやメロディを全身で感じながら、生き生きと表現する姿からは、誰もが大きなエネルギーを感じたことと思います。演技を終えた子どもたちの表情は、キラキラ輝き、達成感に満ち溢れていました。

クリスマス会

(十二月十三日)



優雅なハープの演奏やめぐみおねえさんの美しい歌、キッズポケッツとコラボした先生たちの楽しい劇。そしてサンタさんも登場し、クリスマスの雰囲気たっぷり、笑顔の時間となりました。



◆なるなる畑トピックス

今年の秋は、サツマイモがたくさん採れました。大きなお芋、面白い形のお芋がゴロゴロ掘れて、畑では子どもたちの歓声があがっていました。そのサツマイモ畑は、その後どうなっているかと言いますと・・・環境整備のおじさんが、耕運機で耕し平らにならして、円のラインを溝を掘って付け、土俵を作ってくれました。十一月、十二月はたくさんのお芋が採れますが、この土俵でお相撲をして元氣いっぱいにあそびました。



『あい・ふれあい・まなびあい』

師走となり、充実した2学期も終わり、昭和世代まではたき火で温まりたいところです。ところが「たき火」の歌は残っても、実際には消防法や環境法でできなくなりました。幼稚園の「こっこあそび」の定番「お店屋さんこっこ」も、セルフサービスのスーパー、「コンビニ」になると様変わりするのでしょいか？歌やこっこあそびで日本の生活に「あい、お友だちとふれあい、ともにまなびあう場が幼稚園です。年賀状の季節、年長組の「郵便こっこ」もメールこっこにならない人間社会を願います。豊かな実体験のある、良いお年をお迎えください。

園長 岡田 勝彦